

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

ゴール3「すべての人に健康と福祉を」

3 すべての人に健康と福祉を



新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、医療サービスの充実や医薬品、ワクチンの開発は欠かすことのできないものだと実感している方も多いのではないのでしょうか。

日本は、医療体制や保険制度が整備されており、体調が悪くなった時は当たり前のように病院に行き、適切な治療を受けることができます。しかし、世界では医療格差や衛生環境が原因で救えるはずの命が奪われて

いることも少なくありません。実際に年間約520万人の5歳未満の子どもが命を落としており、その多くはアフリカ諸国の貧しい子どもたちです。医療格差や水、衛生環境の改善はもちろんのこと、加えて途上国の人々が病気についての正しい知識を得られるような教育支援も必要です。また、健康問題は途上国に限らず、日本のような先進国でも課題とされており、生活習慣病や過度な飲酒、喫煙がその代表例です。精神的ストレスによる「心の病」のケアや、自殺防止の必要性も指摘されています。

苅田町の取り組みは？

健康で充実した生涯を送るために、苅田町健康づくり計画を策定

苅田町では、平成26年度に「いきいきかんだ21 第2次苅田町健康づくり計画」を策定し、「健康寿命の延伸」を大目標に掲げ、町民の自主的な健康づくりを支援するとともに、健やかで心豊かな暮らしが実感できる社会の実現を目指しています。一人ひとりが健康に対する意識を高め、地域・行政・関係機関が連携して取り組みを進めていくことで、すべての人が健康的な日常生活を送り、日々を充実させることができます。

今後も健診（検診）、運動・栄養教室、生活習慣病予防講演会、食生活改善の活動など様々な保健事業を通して、町民の健康寿命の延伸に地域や苅田町が協働で取り組むことができる環境づくりを推進します。

私たちにできることは？

世界の医療課題に関心を持ち、できることから始めましょう

日本は医療体制や保険制度が比較的恵まれていることもあり、医療課題について考える機会は少ないかもしれませんが、世界では医療体制や医療保険制度が整っておらず、適切な医療サービスを受けることができない人が多くいます。このような世界の医療課題の現状を知り、目の前の小さなことから行動してみましょう。

具体的な取り組み

- 世界の医療課題に関心を持ち、寄付や募金を試みる。
- ボランティア活動に参加することで支援団体の活動をサポートする。
- 健康診断・検診を定期的に受ける。
- 運動の習慣化、食生活の改善など、健康に気をつかう。

SDGsの取り組み募集

あなたのSDGsの取り組みを広報紙や苅田町ホームページで紹介させてください！

- 募集内容：SDGs目標達成のための取り組み
 - 対象：町内の企業、団体、個人などどなたでも
 - 申込方法：苅田町HP内「SDGs専用ページ」から様式をダウンロードして、郵送またはメールで申し込み
URL：https://www.town.kanda.lg.jp/_1032/_7150.html メール：kikakuseisakuka@town.kanda.lg.jp
郵送先：〒800-0392 苅田町富久町1-19-1 苅田町役場 企画政策課 企画担当 (☎093・588・1006)
- ※掲載号などの調整のため、後日、申請者の方にご連絡します。簡単な取材(写真撮影含む)にご対応いただく場合があります。